

総合型選抜プレゼン型入試：対策シート

1 テーマ（主題）

①テーマ（「おにごっこ」における子どもの姿）を思いっただけ書いてみましょう。

- 身体の動きに関わる姿（全身を使って走る、方向転換、持久力）
- 社会性に関わる姿（ルール理解、友だちへの思いやり）
- 感情・表現に関わる姿（喜びや楽しさ、悔しさ）

②テーマを選ぶ

感情・表現に関わる姿

2 テーマ（主題）を選んだ理由

中学生の頃、保育園での職場体験を通して、年長児の子どもたちと一緒に「おにごっこ」をしました。逃げる時に、「こっちへおいで～♪」と囃し立てながら走ったり、つかまりそうになると「きゃー！」とスリルを感じながら走ったり、つまったら本気で悔しがったりと、一つの遊びの中でさまざまな感情を素直に表現している子ども達の姿がとても印象的でした。おにごっこ遊びにみられる子どもの魅力は、まさにこういった姿だと思い、このテーマを選びました。

3 トピック（項目）

乳幼児期の子どもたちは、日々の遊びを通して心身ともに大きく成長します。中でも「おにごっこ」は、体を動かす楽しさだけでなく、ルールの理解や友だちとの関わり、そして感情の表出など、さまざまな魅力があらわれる遊びです。

乳幼児期の子どもたちは、日々の生活や遊びを通して、感情の表し方やコントロールの仕方を少しずつ学んでいきます。おにごっこでは、「つかまえた！」「にげきれた！」という喜びを大きな声や笑顔で表現する姿が見られ、子どもたちの感情表現の豊かさが感じられます。また、鬼になったときの悔しさや、思い通りにいかないもどかしさを経験しながら、自分の感情を受け止め、次にどうするかを考える姿も見られます。こうした経験を通して、感情を外に出すだけでなく、自分の中で整理したり、言葉で伝えたりする力が育っていきます。さらに、友だちの表情や声から気持ちを読み取り、共感したり寄り添ったりすることで、感情の共有や思いやりの心も育まれていきます。

4 「乳幼児期の子どもの魅力」とは

職場体験で保育園を訪れた際、年長児の子どもたちとおにごっこをしました。全身を使って夢中で走り回り、逃げる時に、「こっちへおいで～♪」と囃し立てながら走ったり、つかまりそうになると「きゃー！」と笑いながら逃げたり、「やったー！」と声をあげて喜ぶ姿に、感情を素直に表現できる子どもの魅力を感じました。おにごっこでは、体を動かす楽しさだけでなく、ルールを理解し、友だちと関わる中で社会性が育まれます。さらに、悔しさを自分で受け止めたり、相手を思いやる行動をとる姿からは、心の成長も見られました。おにごっこを通して感じたのは、感情のままに遊びに没頭しながら、心身ともに育っていくという姿が、乳幼児期の子どもの自然で力強い魅力だと考えます。